

株式会社TOKAIケーブルネットワーク
平成25年度第1回番組審議会 議事録

開催日時 平成25年7月18日(木) 11時00分～13時30分
場所 グランディエールブクトーカイ 4階 プレリユード

出席者 <審議委員> 下記、審議委員7名中6名の出席(敬称略)
大坪 檀 (審議会会長)
岩崎 一雄 (審議会副会長・沼津市)
青木 洋一 (富士市)
渡邊 英正 (三島市)
土屋 廣実 (御殿場市)(欠席)
飯島 ふじ子 (焼津市)
石川 茂樹 (藤枝市)

次第 1. 開会挨拶 代表取締役社長 福田 安広
2. 議事 ・委員紹介及び会長・副会長選出について
・TCN放送基準について
・番組審議「TCNワイド」
3. 閉会挨拶 常務取締役 杉山 康則

議題： 「TCNワイド」※ダイジェスト版21分視聴
・富士宮市「富士山 開山式」、三島市「三島駅でも開山式」
・トコチャンリポーター「お父さんの仕事(お寿司屋さん)をレポート」
・シリーズ「郷土の恵み、明日へ」田子の浦のシラス
・警察情報「静岡県警音楽隊」・JAなんすん新鮮情報「長泉産直市」
・覗いてみよう、仕事の現場「杉本提灯店」
・富士山が一番～富士山に魅せられた人たち～「富士山自然誌研究会」
・届け!富士山あなたからのメッセージ/家族にありがとう

概要：

「TCNワイド」は、地域話題を毎日生放送できる番組として、平成24年4月よりスタートした。「地域の人の顔を、生き様を映し出す」「取材依頼は断らない」を基本的なコンセプトに、全県をカバーするNHKや民間放送とは一味違う「生活者の視点」で主体的に情報発信が出来る番組を制作している。また、「ストレートニュース」のほか、担当記者がそれぞれの視点で取材を重ねて制作する「地域特集」は、日本ケーブルテレビ連盟主催「日本ケーブルテレビ大賞・番組アワード」の優秀賞を獲得するなど成果を出している。

主な意見：

- ・ 全般的にクオリティの高い内容が多い。出身である富士市の話もあり、ケーブルテレビらしいローカル色の強いものがあり良いと感じた。(富士市 青木委員)
- ・ きめ細かな取材をしている。子どもが出演、インタビューをするところは、母親目線で見てしまいとてもかわいかった。また、田子の浦のシラス漁の取材については、実際に現地に訪れて食べてみたいと思った。(焼津市 飯島委員)
- ・ 番組概要の説明の中で、撮影から編集まですべて一人で行っていると聞き、その体制に驚いた。クオリティが高いと感じた。知り合いが番組でいたら、見てほしいと思う。とても身近に感じた。(藤枝市 石川委員)
- ・ 審議対象の番組ではないが、中体連の試合を放送していた時は見ていた。ローカル色の強いもの、スポーツについては野球に限らず、地域密着のケーブルテレビとしては取り組んでほしい。(三島市 渡邊委員)
- ・ 普段、ほとんどテレビを見ていないが、地元(シラス漁など)の話題を扱ってもらえると、とても身近に感じる。高校野球は、母校や、近所の高校がでていると球場にいかなくともケーブルテレビで見られるのは良いと思う。関心のある番組編成をしてほしい。全国版のもの(ニュース)などは、民放でみればよいので、視聴者の意見を聞く、機会を作って是非番組編成に反映をしてもらいたい。(沼津市 岩崎副会長)
- ・ ケーブルテレビは地域密着であることを強力に全面にだす必要がある。番組内容はとてもよいが、それを知っている人は少ない。知ってもらう方法、番組宣伝について考える必要があるのではないか? TOKAIグループのブランド力をもっと活用したらよいと思う。(大坪会長)
- ・ TOKAIモバイルショップとの連携することでテレビやインターネットへの加入に結びつくのではないかと。(富士市 青木委員)
- ・ たとえば、ゴールデンタイムは民放をみってしまうので、深夜帯に編成を強化するなど、再放送などで編成してみてもどうか? 深夜帯のショップチャンネルの放送はチャンネルを換えてしまう。深夜帯や、朝の早い時間帯に放送をしてみたらどうか?(富士市 青木委員)
- ・ 番宣については、自社の放送の中で、視聴率の高い番組の中に見てもらいたい番組の宣伝を入れ込んでCMづくりをしてみたらどうか?(藤枝市 石川委員)

(総括 審議会会長より)

- ・ 審議番組の意見のみならず、多面的な(ケーブルテレビ全体に関する)意見もあり、また、経営者目線での意見もあって興味深かった。番組のPRについて、たとえば、地元のフリーペーパーや、行政の広報誌と組むなどを検討するなど、今後は番組PRの仕方を工夫し、考えていく必要がある。

以上